

日本泌尿器科学会

第 209 回 熊本地方会プログラム

日時：令和 7 年 3 月 15 日（土）

時間：15 時 00 分～18 時 10 分

会場：ANA クラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

2 階 「平安」

住所：熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地

<補足>

- ◇ 1 演題につき口演時間は 7 分・討論時間は 3 分です。
- ◇ 次演者は会場前方、演台手前の席での待機をお願いいたします。
- ◇ 発表形式は Windows Power Point 限定です。
- ◇ Mac など PC を持参される場合は、各自専用コード・出力端子用アダプタをご準備下さい。
- ◇ 発表データは可能ならば事前にメールでのご提出、もしくは当日 USB メモリに保存し受付にご提出下さい。
- ◇ 会員カードを必ずご持参下さい。
- ◇ （研修医を除く）地方会非会員の先生は、参加費 3,000 円を徴収します。
- ◇ 後日、熊本大学泌尿器科ホームページで演題の PDF を公開いたしますので、体調不安等ございましたら、無理なさらぬようお願いいたします。

◆ セッション 1 (15 時 00 分～16 時 20 分)

座長：原 一正

(熊本中央病院)

1. 当院における緩和ケア科と泌尿器科の連携について
高野雄一 (大腸肛門病センター 高野病院 泌尿器科)
鳥崎哲平 (大腸肛門病センター 高野病院 緩和ケア科)
2. 副腎近傍に発生した孤立性繊維腫瘍の 1 例
石崎宏志、二口芳樹、川上茂生 (JCHO 熊本総合病院)
3. 外傷性腎損傷・尿溢流に対して、腎部分廃絶術や経皮的ボルヒール散布による保存的治療を試みるも外科的治療が必要となった一例
坂梨壺成、眞鍋笙之介、有菌奈穂、岡保伸、濱崎和代、占部裕巳、
三上洋、福井秀幸、渡邊紳一郎 (済生会熊本病院)
4. papillary renal neoplasm with reverse polarity と診断した腎腫瘍の 1 例
今藤淳之助、中村圭輔、宮本豊 (熊本労災病院)
5. ノロウイルス胃腸炎後に急性腎後性腎不全を発症した一例
田中大樹、里地葉、富永成一郎、桑原朋広 (熊本市民病院)
6. 当院で経験した根治切除不能な尿路上皮癌に対してパドセブ+キイトルーダ療法の 2 例
愛甲泉、東俊之介、三浦太郎 (水俣市立総合医療センター)
7. 膀胱腫瘍の手術成績
井手迫俊彦、川上一誠、才田幸一郎、小川理佐子、
川越真理 (済生会川内病院 泌尿器科・小児泌尿器科)
8. 尿道スリング手術後における再手術例の臨床的検討
谷川史城、脊川卓也、松永欣也、狩野武洋、浅山縁、
井秀隆、鍋倉康文、野尻明弘 (熊本泌尿器科病院)
鎌田知子 (第一東和会病院ウロギネコロジーセンター)

<<< 休憩 (16時20分～16時35分) >>>

◆セッション2 (16時35分～17時55分)

座長：陣内 良映

(天草地域医療センター)

9. 前立腺肥大症に対する3種の手術を施行した一例～古きから新しきまで～
野尻拓矢、山中達郎、陣内良映 (天草地域医療センター)
大塚 知博、大塚芳明 (大塚泌尿器科クリニック)
10. 開腹前立腺全摘術後に膀胱尿道吻合部損傷した1例
右田 敏起、山中 広太郎、中熊 健介 (人吉医療センター)
11. アンドロゲン不応症に対して 腹腔鏡下性腺摘除術 を施行した一例
武川広嗣、穴見俊樹、清田明日香、西澤秀和、倉橋竜磨、元島崇信、
村上洋嗣、馬場理也 矢津田旬二、神波大己 (熊本大学病院)
12. 陰嚢内原発脱分化型脂肪肉腫に対し外科的切除を行った1例
瀬口芳智、福井秀幸、坂田憲亮、坂梨壺成、阿南公輝、眞鍋笙之介、南隆広、
有菌奈穂、岡保伸、占部裕巳、三上洋、渡邊紳一郎 (済生会熊本病院)
13. MRIの所見により精巣を温存し得た急性陰嚢症の一例
田中聡、浮池昌二郎、今川大輔、濱田真輔、原一正、濱田泰之 (熊本中央病院)
黒川慎一郎 (くろかわクリニック)
14. 坐骨孔ヘルニアの2例
笹岡祐次、牧野耕、近浦慶太、山口隆大 (くまもと県北病院)
15. 尿管結石に対する漢方薬治療
黒川慎一郎、田中英裕 (くろかわクリニック)
田中聡 浮池昌二郎 今川大輔 濱田真輔 原一正 濱田泰之 (熊本中央病院)

16. 前立腺癌患者に対する重粒子線治療後の排尿障害に対する漢方治療

黒川慎一郎、田中英裕（くろかわクリニック）

西本 豊 佐藤 総輔（大賀薬局）

戸山 真吾 末藤 大明（九州国際重粒子線がん治療センター）

田中聡 浮池昌二郎 今川大輔 濱田真輔 原一正 濱田泰之（熊本中央病院）

<<< 2024 年 会計報告（18 時 00 分～18 時 10 分） >>>

村上 洋嗣（熊本大学病院）

◆熊本地方会参加単位登録の手順

～参加受付から参加単位登録までの流れ～

（※受付には、日本泌尿器科学会の「会員カード」が必要です。）

- 1) 受付にて参加受付を行う。
- 2) 参加証を受け取り、記名欄に名前を記入する。
- 3) 「会員カード」の QR コードをハンディターミナルで読み取ってもらう。

※「会員カード」をお持ちでない場合は、参加証の原本をご自身の専門医（初回・更新）認定申請時期まで保管し、申請書類に貼付して下さい。会員カードを作製されていない方は、日本泌尿器科学会 WEB サイトの「よくあるご質問」ページ（<http://www.urol.or.jp/other/faq.html>）より、「Q. 初めて会員カードを作製するには…」をお読み下さい。また、参加証は、後日 WEB 上で単位が確認できるまで（約 3 カ月程度）は大切に保管して下さい。その他、ご質問(単位登録に関する質問も含む)は、日本泌尿器科学会へお問い合わせ下さい。（TEL：03-3814-7921）